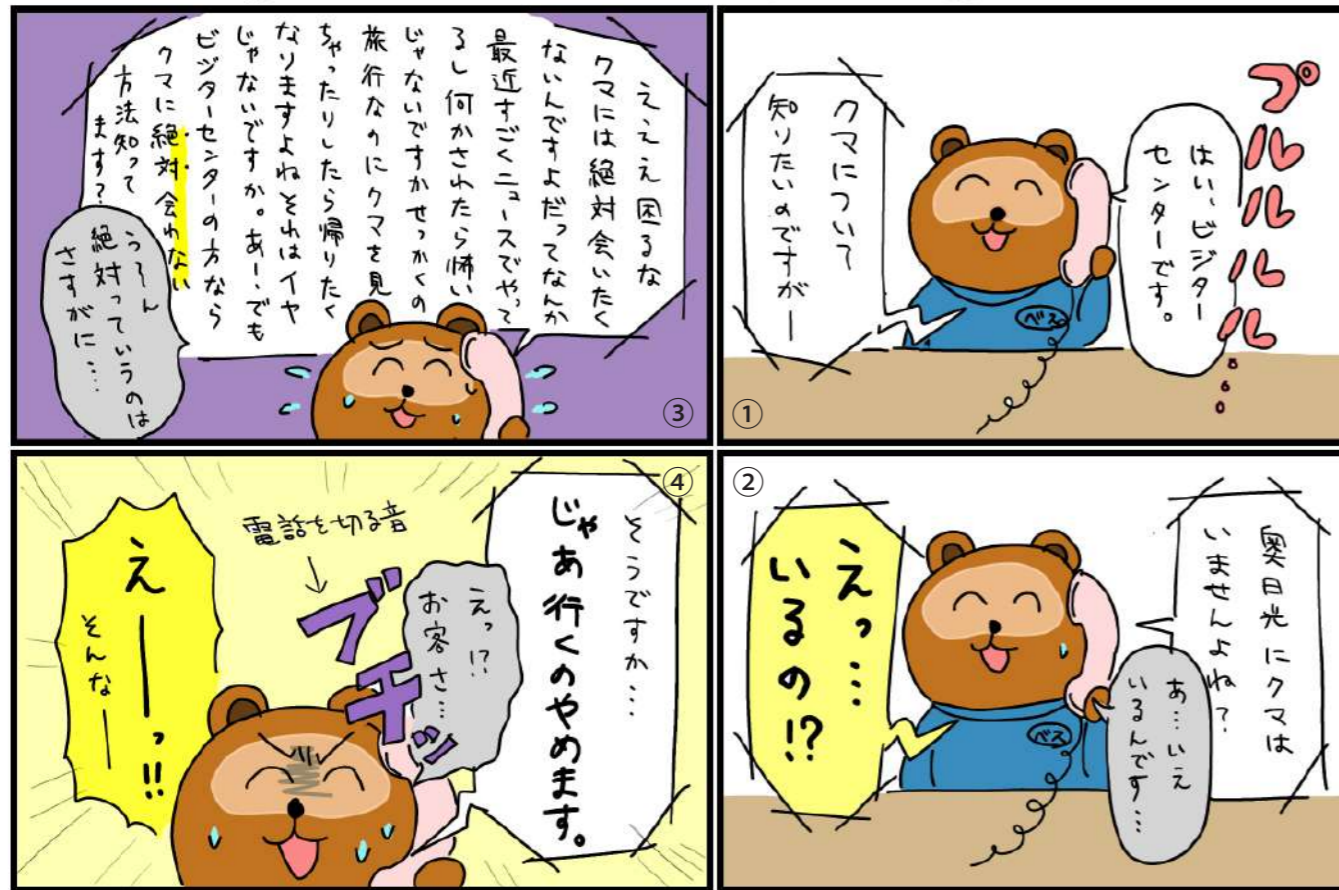


# ビジターセンターまんが



クマの目撃情報が増える夏以降、とくに多い「クマに出会わないためにどうするか」というお問合せ。できるだけ出会わないようにする方法をお教えすることはできても、「絶対に会わない方法」と言われると、私たちもさすがに困ってしまいます。

しかし、お客様のなかには、今回の漫画のように「クマが生息しているなら行きません」という方がいらっしゃるのも事実です。私たちの説明もむなしく、力及ばず悔しい気持ちもあります。怖いものは何と言われようと怖いですよ…その気持ちも分かります。「クマが出るところには行かない」というのも、ひとつの選択肢だと思います。

クマだけに着目すると怖い気持ちが先立ちますが、他にも奥日光ではサルやシカ、キツネ、アナグマなど、さまざまな野生動物に出会えます。「クマがいるところ」ではなく「自然が豊かなところ」と思っていたら、私たちは嬉しく思います。ぜひ、自然がいっぱいの奥日光にお越しくださいね。

## 定期購読のご案内

発行日にご自宅まで本誌をお届けします。

「楓通信」購読料 **1,000 円**

2024年3月号 (No.156) ~ 2025年12月号 (No.163)

※本誌は無料。送料、手数料として頂きます。

[申し込み方法]  
ビジターセンターで申込書にご記入いただくか、下記まで氏名・住所・電話番号をご連絡ください。

※アドレスが変わりました！

✉ [yumotovc.guide@npfj.or.jp](mailto:yumotovc.guide@npfj.or.jp)

☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

2024年6月初旬発行 [次号 2024年9月初旬発行予定]

奥日光の自然情報誌

# 楓通信

2024年 No.157

6-8月号



夏の湯ノ湖

## 今号の特集

< 特集1 > 奥日光のビーチへ行こう！

< 特集2 > イベント裏バナシ 「特別許可を得て実施」ってなに？

夏だ！山だ！海だ！

奥日光のビーチへ行こう！

日光の市街地よりも約10℃気温が低く、毎年多くの方が避暑に訪れる奥日光。しかし、「涼しいのは良いけど、山より海の方が好き」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そんな海派の方にもおすすめしたい、奥日光の（まるで）ビーチスポットをご紹介します！！

乗り物からの景色も  
楽しみながらアクセス可能！

まずは、クリンソウのお花畑でも知られる千手ヶ浜。低公害バスや遊覧船でもアクセスできるのが魅力。小さなお子さんや体力に自信のない方も安心です。

以前、本誌の特集（〇号）でも書きましたが、上記の理由もあってか、夏にはお子さんが浜辺

で水遊びをしたり、ラフな恰好の方々がシートを広げてピクニックをしていることも。山奥であることを忘れてしまうかのような光景が広がり、奥日光の憩いの場にもなっています。

6月にクリンソウが見頃を迎えると、バスも千手ヶ浜も大混雑ですが、その間以外は静かなところ。波の音をききながらのんびり過ごすことができます。浜のまわりは平らな道で、ほどよく日影もあるので、少しお散歩してみるのも良いですね。波の音と涼しい風が、とっても気持ち良いですよ。

## 千手ヶ浜

千手ヶ浜の砂浜は昔  
超レアだった！？

江戸時代の日光のガイドブック「日光山志」では、千手ヶ浜の白砂について「仏陀の遺骨にみたてる程ありがたい白い砂、千手砂利（せんじゅのじゃり）」と書かれています。江戸時代までは千手ヶ浜に行くルートが存在しなかったため、珍しい景観が広がる場所とされていたようです。

山もビーチも  
ほどよく満喫できる

知る人ぞ知る！？奥日光のビーチスポットが中禅寺湖北岸。名前の通り、中禅寺湖の北側にある歩道を歩きます。

アクセス方法は、菖蒲ヶ浜や千手ヶ浜からの徒歩のみ。しかし、そのぶん人が少なく、とっても静か。場合によっては白砂のビーチをひとり占めできるかもしれません。



北岸と同様に、中禅寺湖には南岸コースもあります。ただしこちら



は、歩き通すと6時間以上かかる行程。ビーチ目的なら、歌ヶ浜～阿世瀧（あぜがた）の往復がハイキングに最適です。また、南岸はスタートからゴールまで、男体山を見ながら歩くことができます。さまざまな角度からの男体山を楽しみたい方にもオススメのコースです！

おすすめポイント



今回ご紹介したスポットのポイントは、「ほどよく日影があること」。戦場ヶ原はほとんど日影がなく、とくに真夏は、途中のベンチで休憩してられないほどの直射日光を浴びることも。それに対し、千手ヶ浜や中禅寺湖の歩道は大半が森の中。木漏れ日を感じながら、湖沿いをゆったり歩くのは気持ち良いですよ。

中禅寺湖の歩道沿いにベンチはありませんが、危なくなさそうな浜において、自分だけの休憩スポットを探すことができます。そんな楽しみも、ぜひ味わってみてください。

中禅寺湖北岸

どうして  
白い砂浜になるのか？

白い砂浜の場所は、花崗岩で形成されています。花崗岩には色っぽく見える特徴があり、その影響だと考えられます。

## 許可を得て実施しているイベントの一例



御沢金剛峡  
(宇都宮大学)

かつて修験者などが通った道。景観の美しさだけでなく、歴史ある場所でもあることから、イベントでご案内しています。

一面が苔むした風景は、まるで別の世界に迷いこんでしまったかのよう。ヒンヤリとした空気が漂い、幻想的で神秘的。言葉で表現できない独特の雰囲気です。



カクレ滝  
(林野庁)

思い切り飛び込みたくなるような、真っ青な滝つぼが神秘的な滝。辿り着いてもパッと見は滝が見えないその様子は、まさにカクレ滝。膝まで水に浸かり、やっとの思いで見る滝は格別です。

クマの痕跡が毎年多いので、まさにイベントでみんなでワイワイ行くべき場所といえるでしょう。



ゼロから始める  
スノーシュー  
(林野庁)

案内には記載していませんが、一部スノーシューコース以外にも立ち入るため、事前に許可を得ています。冬のイベントに参加された方は、ソリ滑りをした場所を覚えていませんか？その場所です！

このように、「実は許可を取っている」パターンもあるのです。



逆川源流  
(学習院光徳小屋)

※林野庁

敷地内に入らせていただくため、事前にご挨拶に伺います。「湧き水は地中から湧いている」というのがはっきりと分かる、貴重な場所です。砂を巻き上げて勢いよく水が湧く様子に、自然のエネルギーを直に感じることができます。

冬もイベントでお世話になっている、癒しのスポットです。

**A** 入山にあたり、土地の所有者に立ち入りの許可を取っています。

**Q** 「特別許可を得て実施」ってどういうこと？

イベント案内に書かれている

イベント案内に書かれている

って



今号にも「特別許可を得て実施」と記載したイベントがあります。「普段は入れないところに行く」という雰囲気を感じると思いますが、なぜ許可が必要なのかはピンとこない方が多いのではないのでしょうか。

### 同じ奥日光でも 土地ごとに所有者が異なる

まず前提として、多くの人が歩くことのできる遊歩道以外に立ち入る場合、土地の所有者の許可が必要です。左のページにまとめた通り、土地ごとに所有者はさまざま。そこへ勝手に立ち入っては、ひとの敷地に無断で出入りすると変わりません。そのため、イベントで敷地内に入る際には、必ず事前に確認を取っています。

とくに、御沢金剛峡は宇都宮大学の演習林内であり、普段は研究の場として使われているところです。関係者以外の立ち入りは許されていません。しかし、私たちは「ルート情報、写真を絶対にネット上にあげないこと、情報を広めないこと」を条件に、特別にお客様を案内させていただいています。

イベントの実施にあたり、敷地内への立ち入りを許可してくださる関係機関の方々に感謝しながら、お申込み、ご参加いただければ幸いです。

# ビビターセンターのイベント

## 辿り着いてもわからない!? 『カクレ滝』へいざ探検!

7月21日(日)  
9:00-15:30

誰もいない静かな森を抜けると現れる、純白に輝く神秘の滝、カクレ滝。水の中に膝までジャブジャブ入ってやっと滝つぼが見えるその様は、まさに隠れ滝! 足場が悪くてちょっとスリリングですが、探検気分が楽しめます。気持ち良いですよ~  
【ルート】西ノ湖入口バス停→西ノ湖→カクレ滝(往復) ※特別許可を得て実施

参加費 4,000 円



## お魚つかみ取り(と、焼いて食べる)体験!

8月3日(土)  
10:00-12:00

この日限定! 白根沢でマスのつかみ取り体験ができます! 真夏でも気温 25 度前後の快適な奥日光で、夏の思い出を作りませんか? 魚のつかみ取り、放流を体験したら、新鮮な魚を焼いて食べましょう! 大人も子供(保護者同伴)も参加可能です!  
【実施場所】白根沢(湯元温泉内)  
※特別許可を得て実施

参加費 2,000 円

(捕った魚を持ち帰ることもできます)



## 究極の闇体験! 『日光湯元ナイトハイク』

8月17日(土)  
19:30-21:30

湯元温泉でナイトサファリ!? 人工灯がないエリアを歩き、あえて「究極の闇」を体験します...! 闇だけでなく、晴れば満点の星空も楽しめます。天の川もきれいに見えるかも? ただし、宿で夕食をとる方は、食事の時間を事前によくご確認ください!  
【ルート】湯元温泉街周辺

参加費 2,000 円



## ここは本当に奥日光!? 御沢金剛峯と金剛湧水

9月8日(日)  
10:00-15:00

残暑が厳しいこの時季に、ヒンヤリとした空気が気持ち良い本コースはピッタリ! 苔むした幻想的な景観は、良い意味で奥日光ではない別の場所にいるかのような。水辺を歩き、林を抜けて、最後は水源を目指します。冒険感あり、歴史あり、盛り沢山です!  
【ルート】梵字 P→御沢金剛峯→金剛湧水→梵字 P ※特別許可を得て実施

参加費 4,000 円



### お申込み先(自然公園財団日光支部)

＼アドレスが変わりました!／  
✉ [yumotovc.guide@npfj.or.jp](mailto:yumotovc.guide@npfj.or.jp)  
☎ 0288-62-2461 (FAX: 0288-62-2378)

お申込みの際、下記をお知らせください。

- ①氏名②令和3年~5年実施イベントの参加有無
- ③性別④年齢⑤住所(郵便番号含む)⑥電話番号
- ⑦当日の交通手段